

## 第5章

# 各種施策の事業計画

### 5-1 施策のスケジュール

各種施策の取り組みについて、スケジュールを下表に示します。

基本理念	課題		施策	H22 ～H26	H27 ～H31	H32 ～H36	将来
安心	水源保全	水源汚染の懸念	1-1 かん養域の 保全・監視	実施			継続
			1-2 水源水質の監視	実施			継続
			1-3 水源汚染の防止	実施			継続
	水質管理	管理設備の整備	1-4 管理設備の充実	計画の策定	実施		
			1-5 管理体制の強化	計画の策定	実施		
	施設の管理	施設の安全管理	1-6 施設の衛生的管理 の充実		実施		継続
			1-7 施設の監視設備 の充実	計画の策定	実施		
		受水槽の水質管理	1-8 受水槽管理者 への啓発		実施		継続
	うちぬき 及び 未規制水道	安全な水利用方法の 周知	1-9 広報やホームページを利用した情報提供		実施		継続
			1-10 戸別訪問による 水質管理方法の啓発		実施		継続
安定	水資源の確保	一部地域の水資源不足	2-1 新たな水源開発 の検討	計画の策定	実施		
	非常事態 への対応	耐震化不足	2-2 施設の耐震化	計画の策定	実施		
			2-3 災害対策の推進		実施		継続
		応急体制の整備	2-4 応急体制の強化	実施			

基本理念	課題	施策	H22 ～H26	H27 ～H31	H32 ～H36	将来	
持           続	事業の統合	経営基盤の脆弱化	3-1 各水道事業の統合	計画の策定 → 実施			
		水道行政の均衡	3-2 水道料金の統一	実施	定期的見直し		継続
	資産管理	施設台帳の整備・統合	3-3 施設情報のデジタル化		実施		継続
		事後保全対応	3-4 施設の予防保全		実施		継続
	事業運営形態	異なる運営形態	3-5 最適な事業運営形態の検討	実施			継続
	利用者へのサービス	利用者満足度の向上	3-6 利用者サービス体制の強化	実施			継続
			3-7 利用者への見える事業の展開	実施	定期的見直し		
	技術の継承	技術者の減少	3-8 水道職員の強化		実施		継続
		技術の継承	3-9 各種マニュアルの整備	実施	定期的見直し		
	環     境	省エネルギー	地球温暖化対策	4-1 省エネ機器の導入	実施		継続
地球温暖化防止			4-2 太陽光発電設備の導入検討	実施		継続	
			4-3 発生材の再利用	実施		継続	
環境管理		環境への負荷の管理	4-4 環境監視指標の算定と公表		実施		継続

平成 22 年度～平成 31 年度までの総事業費とその財源

総事業費：33 億円（水道を整備（建設）するためのお金）

財源内訳：補助金等 10 億円、料金負担 23 億円

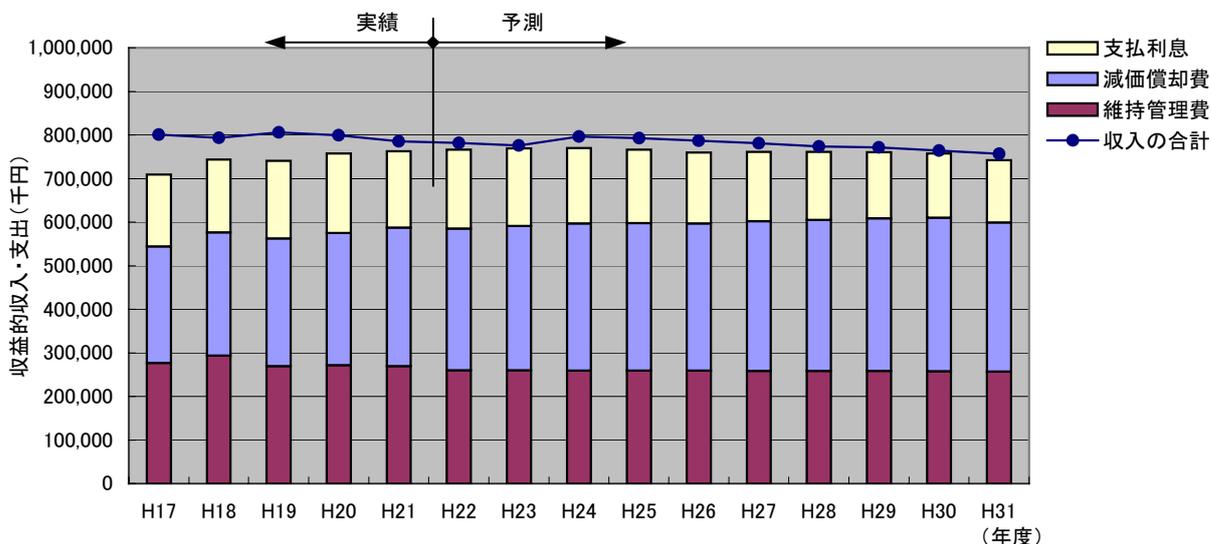
※ 上記金額は計画値であり今後の状況において変更することがあります。

## 5-2 財政計画

平成 31 年度までの財政収支の見通しを示します。

### 財政収支の見通し(収益的収支)

収支バランスを目指します。



注) 現状のままでは平成 25 年度以降単年度赤字となることが見込まれるため、平成 24 年度以降 4 年毎に料金の見直しを行うと仮定しています。  
維持管理費とは、職員給与費、動力費、修繕費、薬品費、その他経費の合計です。

### 財政収支の見通し(資本的収支)

施設の耐用年数に伴う更新や借入金の償還のため、資金の内部留保に努めます。

